

四日市版コミュニティスクール報告書（令和6年度総括）

四日市市立三重北小学校

校長 大原 真美

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- (1) 開かれた学校づくりを目指し、地域・保護者とともに協働できる学校にするために協議会を設置し、様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら地域コミュニティづくりを推進します。
- (2) 教育活動を学校評価に基点を置いたものとします。そのために、これまでの学校関係者評価をより充実させ、改善に努め、保護者や地域の方々の思いや願いを反映した学校づくりを推進します。
- (3) 学習支援をはじめとして、様々な教育活動に保護者や地域の方々との活動を継続・発展させ、「地域とともにつくる学校」の推進を図ります。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 地域の教育力をいかした特色ある教育活動の実践事例

① 地域と協働した学校づくり

学校づくりビジョンを学校と地域が共有し、学校運営や学校教育活動の充実に向けて協働する仕組みができるよう努めました。三重北小学校運営協議会は、人的にも物的にも学校を継続的に支援する体制があり、次のような活動を実現させることができました。

1年生は、八郷西小の学校林や山之一色地区での秋見つけで得た植物や、生活科で育てたサツマイモのつるを使い、リース作りをしました。また、「昔遊び」で、山之一色町と坂部台の長寿会の方々をゲストティーチャーに迎え、保護者も一緒になり、けん玉・コマ・坊主めくり・あやとりなどを教わりました。2年生は「地域探検」でゲストティーチャーから山之一色地区の寺社を案内してもらったり、地域に伝わる獅子舞・民話の話を聞いたりしました。3年生は、「タケノコ掘り」・「シイタケ菌打ち体験」・「昔のくらし」で山之一色地区の自然・農業・生活について実際に体験しながら学びました。4年生は、山之一色地区で瓦産業を営む山三瓦社長の協力を得て、瓦と地域の自然との関わりについて学びました。その後、実際にランプシェードを制作し、素焼きしていただいたものに色と釉薬をつけ、本焼きをしていただきました。防災教室では、四日市大学の鬼頭教授から「自分の身を自分で守る」防災について学び、社協や自主防災会の協力のもと避難所を想定し、子どもたちがバケツリレーでプールの水をトイレに運んだり、簡易トイレを設営したりできるようになりました。5年生は社会科の農業学習を、田植え・稲刈り・青田刈り・しめ縄作りをすることで体験的に学びました。6年生の平和学習では、地域の方と山之一色地区にある戦没者慰霊碑やお墓に書かれた文字を調査することで、当時の太平洋戦争のすさまじさや逃れられない戦争一色の暮らしを知ることができました。さらに、その当時12才だった方をゲストティーチャーに迎え、四日市空襲における山之一色の防空壕での悲惨な出来事について生の声を聞きました。



【1年生 昔遊び】



【2年生 地域探検遊び】



【3年生 シイタケ菌打ち】



【4年生 ランプシェード作り】



【5年生 しめ縄作り】



【6年生 平和学習】

② 学習支援員による学習支援

年間通して、専門的な知識や技能をもつ地域の方々に学習支援員としてかかわっていただいています。例えば、低学年の音楽では教員が授業を進め、鍵盤ハーモニカの演奏等で手助けが必要な児童がいるときにはそっと寄り添い安心感を与え支援していただきました。外国語においても、子どもたちは生きた英語を耳にし、外国の文化に触れる機会がたくさんありました。中・高学年の毛筆（書写）では、筆の運び方のコツをすぐに学ぶことができる環境をつくっていただきました。



【読み聞かせ学習支援員】



【書写学習支援員】



【外国語学習支援員】

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

① 子どもたちの学びに対する指導・支援の充実

三重北小の子どもたちは、保護者や地域の教育力も加わり愛情いっぱい学習支援をしていただきました。例えば、毛筆、外国語等、専門性を活かした学習支援委員さんのおかげで、一人ひとりの子どもにきめ細やかな支援をすることができました。また、それぞれの教職員が学習支援員と協働し、その知識や専門性をいかした質の高い実践をすることができました。

② 地域コミュニティの核としての学校づくり

運営協議会委員長がコーディネーターとなり、各学年の教育活動に合わせて地域資源や地域・もの・人材の活用をご支援いただきました。三重北地域ならではの体

験的な学習を通して、子どもたちは地域のことを知り、地域の方々と出会い、地域の方々の思いや願いに触れるだけでなく、大切にさせていただいていることを実感することができました。また、これらの地域学習が持続的で系統的な学習となるよう、全学年の地域学習を整理し、運営協議会委員の皆様にも協力をいただき、「三重北の地域学習」としてまとめたものをよりよいものに更新していく作業を進めています。

3 今後に向けて

三重北小の子どもたちと教職員にとって、運営協議会委員の皆様、保護者・地域の方々の学校教育活動への支援は、なくてはならないものです。子どもたちの環境や学校が抱える問題は多様化し、それらを解決するために、また子どもたちの豊かな成長のためには地域との協働が不可欠です。

三重北小学校の子どもたちは、地域の方々と頻繁に関わる機会があり、家族だけでなく地域の方々ともつながり、大切にされていることで自己肯定感が高くなっていると考えています。また教職員は、地域の方々と目指す子ども像を共有し、学校づくりビジョンの推進に向けて、特に「確かな学力の定着」「学校教育力の向上」の面で大きな力をいただいています。コミュニティスクールは授業づくり、学校行事、学校環境整備等において、学校と地域のつなぎ役になり、「地域とともにつくる学校」の実現を目指してきました。今年度の取組を学校評価（児童・保護者・教職員）、運営協議会委員の学校関係者評価をもとに成果と課題を明らかにし改善に努めます。

次年度の学校づくりビジョンを、学校は学校運営協議会と共有し、地域教材を活かした学習や体験活動等をカリキュラムマネジメントしながら年間学習計画に位置付けることで推進していきます。そして、コミュニティスクールの実践を振り返り、次年度の学校づくりビジョン推進の取組の中でよりよく活かし、「地域とともにつくる学校」に継続して取り組みます。

令和6年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立三重北小学校

委員長 樋口 和美

校長 大原 真美

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	16日（木）9:25～12:30 第1回運営協議会	① コミュニティスクールについて ② 学校づくりビジョンの説明および承認 ③ 活動方針および年間活動計画 ④ 学校の様子の報告 ⑤ 学校運営に対する意見交流
6		
7		
8		
9	12日（木）9:25～12:00 第2回運営協議会	① 授業参観 ② 学校の様子の報告 ③ 教育委員会総務課より学校規模適正化について説明 ④ 学校運営に対する意見交流
10	29日（火）9:25～12:00 第3回運営協議会	① 授業参観・校内図工作品展参観 ② 学校の様子の報告 ③ 持久走記録会の持ち方についての意見交換 ④ 学校運営に対する意見交流
11		
12		
1	16日（木）9:25～12:00 第4回運営協議会	① 授業参観 ② 学校の様子の報告 ③ 教育総務課からのフィードバック ④ 学校自己評価について ⑤ 学校関係者評価について ⑥ 学校運営に対する意見交流
2	13日（木）13:20～15:30 第5回運営協議会	① 学校保健委員会参観 ② 学校関係者評価について協議 ③ 学校の様子の報告 ④ 学校運営に対する意見交流
3		